




東濃地区の子育て・親育ち通信
家庭教育なう No.2

2024年5月発行
 恵那県事務所振興防災課 家庭教育担当 大島
 〒509-7203 恵那市長島町正家後田 1067-71
 TEL 0573-26-1111 (内線 208)
 FAX 0573-25-7129
 MAIL oshima-akihiro@pref.gifu.lg.jp

「家庭教育なう」は、恵那県事務所の HP からご覧いただくことができます。 QR コード→ 

みんなで家庭教育 (研修動画の一部を紹介)


○家庭教育支援を推進するよりどころとなる法令も整備されています。岐阜県家庭教育支援条例は今年で 10 年目となります。

「家庭教育」は・・・
教育基本法

第十条 父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。

岐阜県家庭教育支援条例

○家庭教育の内容を例示
 ○保護者、祖父母、地域住民、学校、事業者の役割を明記
 ○「家庭教育を实践する日」を規定



○岐阜県では、家庭教育学級を実施するときに役に立つよう家庭教育学級マニュアルを用意しています。

園や学校には、家庭教育学級にすぐに活用できるマニュアルやプログラムを配布しています！

●家庭教育プログラム
 乳幼児期編
 小・中学校編
 次世代編

●家庭教育学級運営マニュアル
 みんなで子育て

発達段階に合わせた具体的な取組満載！
 企画・広報・当日の進行がわかる！
 岐阜県 家庭教育学級の取組紹介 検索

家庭教育学級の5つの型

学校行事参加型
 授業参観やPTA活動など、学校や園の行事にあわせて開催

体験活動参加型
 子育てに関する実技の学び、家族の触れ合いの場として開催

子育てサロン型
 保護者同士が小グループで互いの経験や悩みなどを交流

講演会型
 テーマに適した講師を依頼し、専門的な話を聞く

在宅取組型
 挨拶や早起き、歯みがき等の生活習慣、読み聞かせやお手伝い等、各家庭で実施する取組

○岐阜県では、家庭教育の参考となるよう家庭教育動画教材も用意しています。(裏面参照)

岐阜県作成の家庭教育動画教材もご活用ください！

岐阜県の家庭教育
 視聴時間は、1分～10分程度の18本の動画があります
 岐阜県 家庭教育動画教材 検索

各地区の家庭教育
 岐阜地区
 恵那地区
 加茂地区
 高浪地区
 高浪地区
 高浪地区
 高浪地区
 高浪地区

岐阜県環境生活政策課公式YouTubeチャンネルから視聴できます！

岐阜県環境生活政策課
 岐阜県環境生活政策課
 岐阜県環境生活政策課

子育ての疑問・心配・お悩み...

子どもがなかなか言うことを聞いてくれない...

うちの子、元気が良すぎて心配...

仕事しながら愛情たっぷりに育てたい

いろんな本を読んであげたいなあ



これなら
できるかも!

解決のヒントが

YouTube

で見つかる!

家庭教育について学ぶ動画

ちょっと
気軽に

すきま時間に

どこでも
スマホで!

うちでも
やってみよう!



思いを伝え、
いっしょにやりきろう



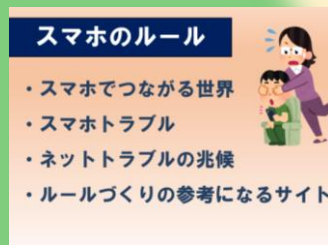
公開中!



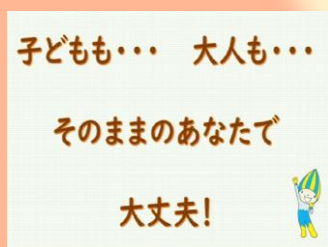
こちらの
二次元コードから
他の動画も
チェックできます!



スマホのルール



見つけよう!
みんなのステキなところ



いよいよ小学生!





「子育てサロン」



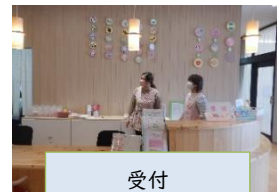
訪問日時 令和6年4月12日(金) 10:30～
場所 中津川市ひと・まちテラス 3階 子育て支援センター
運営 NPO 法人 Viva 中津川 家庭教育支援チーム すくすくわくわくまあるいこころ

中津川市は昨年7月、複合施設「ひと・まちテラス」を新築しました。施設は三階建てで、二階に図書館、三階に子育て支援センターを開設しました。

ここは入園前のお子さんと保護者が気軽に立ち寄り、遊べる場所です。子育て中の保護者同士でおしゃべりしたり、手遊びや絵本の読み聞かせなどを通して親子でふれあったり、就園前に集団生活を体験することができます。その運営を委託されているのが、NPO 法人 Viva 中津川の皆さんです。

この日の「子育てサロン」参加者は、未就園児の親子8組(子ども10人、親8人)でした。担当してくださった平井さんからお話を伺いましたが、昨年度は、多いときは参加者が40組を越えて混雑したこともあって、今年度から一部予約制に切り替えたとのことです。

朝の会と新聞でカブトづくり



受付

- 子育てサロン プログラム
- 1 お歌遊び
 - 2 お名前紹介
 - 3 かわり絵シアター
 - 4 大型絵本読み聞かせ
 - 5 お母さんとスキンシップ
 - 6 新聞紙でカブトづくり

施設は、木材がふんだんに使われていて、温かさや清涼感をかもし出しています。受付では、スタッフさんが笑顔で温かく迎えてくださいます。子育て経験のあるスタッフや保護者の方もいるので、初めての子育てで不安や悩みがある方は気軽に相談できます。広場には、スタッフ2名が常駐し、活動の見守りをして見えます。この日、中津川市生涯学習スポーツ課社会教育指導員の小川さんからいろいろとお話を伺いました。

作ったカブトで、ご満悦?



Q「ひと・まちテラス子育て支援センターのこれまでの利用者数はどのぐらいですか。」

A「昨年7月～今年3月までの利用者数はのべ14,064人です。」

Q「これまでの利用者数との違いはありますか。」

A「にぎわいプラザのときには月平均300名ぐらいでした。今は、月平均1500名以上です。」

Q「何名の方がスタッフとして活動してみえますか。」

A「現在38名のスタッフで活動しています。スタッフはみんな『中津川市の子育てマイスター養成講座』を受講済みです。スタッフの中には以前、お子さんと一緒に遊びに来ていた方も多くいます。この間も『どうしたらこのスタッフになれますか』と聞かれる方もあり、利用者からスタッフになった方もたくさんみえます。みなさんが安心して過ごせる居場所になっていると思います。」

5倍!

Q「他にどんな活動をしていますか。」

A「子育てを支援する様々な取組をしています。例えば、手作りおもちゃの日、おしゃべり会、ねんねの赤ちゃん大きくなあれ、絵本の読み聞かせ、赤ちゃんの体重測定、一時預かりなどです。心の駅:にぎわいほっとステーション時代からの「～いつ来ても、いつものおばさんがいてほっとできる私の居場所～3世代の誰もが集える場所」のコンセプトを大切に受け継いでいます。昨年は利用者からのリクエストで「赤ちゃんハイハイレース、よちよちレース」も企画しました。とても盛況でした。」

赤ちゃんハイハイレース
赤ちゃんよちよちレース



【利用者の声】～安心感と絵本のある施設～

・家では子どもと1対1です。子どもは、私にかまってほしいと思いますが、家事もあるのでなかなか遊ばせん。ここに来ると広くて遊べるし、何より皆さんに見てもらえるので安心です。よく利用させてもらっています。

・近くの公園で遊んだ後、よく利用させてもらっています。何より絵本が選べるスペースがあり、気軽に本が借りられるところがよいです。普通の図書館では子どもが騒ぐのを心配しますが、ここでは、少しぐらい子どもが騒いでも「大丈夫!」と、安心して利用できます。

【このよさを学びたい!】

・ひと・まちテラスへ移転してから、来館者が約5倍になっています。これまでの活動実績と、施設の新鮮さ、利用しやすさが相まって、利用者が増えたことと思います。

・取材の際にわかったのは、施設の新鮮さはもちろんですが、衛生面にも気をつけてみえるところです。担当を決めて、使用場所を確実に清掃(消毒)していることも伺いました。利用者を笑顔にしてくれる雰囲気と清涼感で、再び訪れたくなる場所になっています。